指定管理者評価に係る合議の概要

施設名	箕面市立介護老人保健施設
指定管理者名	社会福祉法人箕面市社会福祉協議会
開催日	令和5年（2023年）12月13日（水）
開催場所	総合保健福祉センター分館 2階講堂
合議の出席者	箕面市西部地域包括支援センター管理者 安田 知美氏 箕面認知症家族会「びわの会」会計 全並 美知子氏 箕面市居宅介護支援事業所・介護予防支援事業所連絡会会長 野口 恒氏

【概要】次頁のとおり

内容	令和5年12月13日（水）に総合保健福祉センター分館2階講堂にて、指定管理者の評価に係る合議を実施しました。主な指定管理者の説明及び合議出席者の意見は以下のとおりです。 1) 事業の実施状況、アンケートについて (指定管理者) コロナ禍であったため、入所利用者のかたへの行事については、外部のかたを呼んでのレクリエーションはできませんでしたが、スタッフによるレクリエーションを実施したり、箕面市立病院にある桜を見に行くなどしました。通所利用者については、要望の多かったカラオケを10月から再開し、1階での外部ボランティアによるパソコン教室などを実施しました。また、地域貢献の一環として、小学校や中学校の福祉体験学習へ、スタッフ派遣を行いました。 そのほか、令和5年3月にはじめて新型コロナウイルス感染症クラスターが発生し、利用者が19名、職員が5名罹患しました。また、施設独自のホームページを立ち上げ、利用者や求職者にもご覧いただくことで、施設への理解がより深まると考えています。 アンケートで3年ほど続けて要望があったトイレのウォシュレット化については、令和4年度にすべてのトイレで設置が完了しました。また、アンケートでいただいた意見のうち、通所のリハビリ内容が変更したことへの意見については、今までの個別でのリハビリを中心としていた内容では、リハビリスタッフと接する時間がどうしても減ってしまうため、集団でのリハビリに移行し、ご希望に応じてそれぞれの利用者にあった個別の自主トレーニングメニューを作成するといった工夫をしており、ご理解いただくため、丁寧な説明を実施しました。 また、面会の時間、回数増加のご意見については、令和4年度においては、1階フロアにて時間及び回数制限のなか実施しましたが、現在は、2階、3階のフロアで、時間は15分間で実施しています。今後も、国、府の指針を参考にし、できる限り拡大していきたいです。 また、車椅子からの転倒事故について、再発防止策などの報告がないとのご意見については、カンファレンス時の説明や、事故の再現映像を撮影し、事故の確認をしていただけるようにして、ご説明させていただいたきました。 (合議出席者) 個別から集団リハビリに変えたとありますが、個別に戻してほしいという意見はどのくらいありますか。 (指定管理者) 集団リハビリにより、リハビリスタッフとの関わりが長くなっているため、概ねご納得いただきたり、喜んでいただいています。 (合議出席者) 集団リハビリとはどのようなものですか。 (指定管理者) 集団で同じメニューをした後に、各利用者に応じた個別の自主トレーニングメニューのリハビリを実施しており、好評いただいています。また、個別より集団で行うことによる相乗効果も大きいです。 2) 総評 感染対策を講じながら、状況に応じて、可能なプログラムを工夫して実施している、また、利用者から希望のあったウォシュレットの設置完了や、利用者やご家族の希望に添えるよう創意工夫しながら運営しており、今後も継続的に実施していくべき事業内容であることを確認しました。 アンケートの結果及び合議で出た意見からも、総じて指定管理者として円滑な運営を行っている、市として評価します。